

華レストランに向かいました。私の座った席の後方には、長岡東R Cの土屋蔵三地区大会実行委員長ご夫婦が無事に終わり、ホッとした表情でお互いにご苦労様という感じで食事をされていました。右向こうには国際ロータリー、田中作次会長代理ご夫婦がお食事されておりました。視きの癖があるわけではないのですが、どうしても視野に入る位置です。あれはきっと…紹興酒の爛です。会長代理は結構早いピッチで吞まれていました。奥様は麺類を啜られながら、陰しくもあり、お疲れでもあるような表情でお話されておりました。ステージ上とはちょっと違う別のお顔を拝見できたことが2日目の一番印象に残ったことでありました。

馬場直次郎会員 「子供達と宇宙の話を聞く」

地区大会における記念講演として、宇宙飛行士に選ばれ、スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗した、毛利 衛さんの講演を聞きに朱鷺メッセ1階ウェーブマーケットに行ってきました。市内の小中学生48名と各クラブ3名、そして事務局2名、バスに乗り込んで颯爽と行ってきました。昼食はホテルイタリア軒、バイキングの予定がカツカレー但しサラダ、生ジュース、そしてアイスクリーム付きということで子供達は大喜びでした。シティホテルで食べるカツカレーはなかなかの味でした。当日参加のロータリアンの昼食に比べ「月とスッポン」くらいの違いがあったようです。

子供達も「10億円の宇宙服」が見られるという事で楽しみにしていたのですが、最後までお目にかかることが出来ずに少々残念でした。

講演の後は子供達と毛利さんの間で楽しい質疑応答が交わされ、あっという間に講演は終了してしまいました。終了後は直ちにバスに乗り込み帰条。

午後4時に市役所前に無事到着。子供達は出迎えの父兄に連れられ帰って行きました。今回の毛利さんの講演の企画はとても素晴らしいものだったと思いました。

12月のお祝い：

誕生日		結婚記念日	
会 員	夫 人		
坂爪 茂雄 2	山中 信子 1	佐藤 義英・ミチ子 5	
	梨木三枝子 2	斎藤 正・裕子 2 3	
	羽賀美美子 4		
	今井 房子 4		
	山崎八重子 8		

12月近隣R C特別例会案内（記帳受付）：

R C名	変更事由	記帳場所
15日（月） 三条南	振り替え休会（11/ 8）	三条信用金庫本店
16日（火） 田 上	夜例会	田上町商工会館
16日（火） 分 水	クリスマス家族会	新潟大栄信用組合本店
17日（水） 三 条	忘年家族会	三条信用金庫本店

リーの皆様に感謝しております。新ためて夫婦間を感じています。柄沢さんが唄う、おやじの背中の中番の歌詞と同じだと思います。綱を強く引くと文句が出るし、弱めると図にのるし、だけど信頼と忍耐そして、いたわる心だと信じています。私百までおまい九十九までの気持で頑張っているところです。

小林 幹 扶 君 星野様卓話御苦労様です。期待しています。

佐藤 義 英 君 星野さん卓話よろしくお願いします。

石川 勝 行 君 ”

米山 忠 俊 君 ”

安田 貞 夫 君 B O X協力

今 村 泉 君 星野義男会員の卓話期待しております。

岡 田 健 君 星野さん卓話ごくろう様です。

阿 部 勝 子 君 お聞き出来ないと思って居た卓話今日聞かせて戴けるなんて楽しみにしております。宜しくどうぞ……。

柄 沢 健 司 君 星野さん卓話ご苦労様です。

羽 賀 一 夫 君 星野さんの卓話楽しみにしています。連名で応援します。時間はたっぷりあります。

淵 岡 茂 君 ”

山 崎 勲 君

卓 話： 星野 義男会員



4月に入会させて戴きすでに8ヶ月過ぎましたが、未だ緊張が続いております。この緊張は皆さんから聞いておりましたが、新会員1・2ヶ月位の間に卓話の要請があり、必ず皆様の前で卓話をして、会報に投稿しなければならぬという決りであるというプレッシャーで順番を消化しないと胸のときめきでストレスを感じていました。

今日夜例会に当たり、漸く卓話の機会を与えて戴き感謝しております。今日の卓話を頭の中で何を話そうかと考えを巡らせていたこと、又自分には尊敬できる人、ご指導戴きたい人、仕事上でのお客様、会長先生の前で話ができるであろうか、日時が決まって卓話が出来るか不安がつのりました。

皆様方にとっては貴重な時間を無駄にさせていることだと思って恐縮しております、どうかお許し下さい。

今日話すことは自分の仕事のこと、北ロータリークラブのこと、自分の気持ちの中、心構え、上手に言えませんが心と、思っている自分自身の感情を話させて頂きたいと思っております。

最初に仕事の話ですが職業は印刷です。私のところはカタログ、チラシ、パッケージ、商品台紙、取り扱い説明書、組み立て説明書、伝票、名刺、ハガキ、シール印刷と全ての印刷が出来る印刷設備

と製版、デザイン、周辺機器コンピュータ入力及びオンデマンド印刷とあらゆる印刷に対応すべく即納態勢を整えております。創業45年、33年目となります。四日町もと保健所前の小さな農舎で妻と2人で開業しました。創業時は活版印刷で活字（植字）で始めました。独立しても決まったお客様はなく飛び込み営業でした。幸い年末でしたので年賀状印刷の立替をして予約受注で営業活動しました。年賀状のお年玉ハガキは発売には枚数制限があり1人200枚の割り当てで行列で順番で買いました。本局、支局、ポストのある店など予約出来るところはお願いし、本局で何回も列び繰り返し繰り返し列びました。家族、知り合い総出で買いました。何万枚も買いました。立替ハガキが縁で固定客も出来、売り上げは順調で仕事もありました。あるお客様から昼間は機械を廻さないで、夜印刷して明るいうちは営業（お客様廻り）しなければと、当時はきつい助言でしたが頑張り通しました。

次の思い出は昭和60年3月長岡の会社を買収しました。佐渡汽船商事の印刷会社でした。社員は26名位、本社新潟で長岡工場と2ヶ所営業をしておりました。長岡工場は営業不振で工場閉鎖、全員解雇といこうでした。1人の社員から私に長岡工場を買ってもらえないかと話がありました。私は、小さいながらも、2ヶ所も経営が出来る能力などないと断りました。外の社員に惚れられたのか分かりませんが、社長が自分たち全員と会社を買収してもらえば我々は全力で頑張りたいと言ってきました。私も金もないし、買収金額もいくらになるか分からず、買収交渉もどうやってすればよいか全々分からず銀行に行って相談しました。三条信用組合南支店店長、女性店長第1号永井フミ江さん、貸付佐藤一正代理でした。「星野さん必要な金、全部貸してやります。本店決裁はしっかり報告して、不足部分は上手に作文して決裁を戴きますので安心してください」と言われました。今日のように貸し渋りなど少しも感じませんでした。

後日、佐渡汽船商事に伺いました。開口一番全部買う気持ちですか、金額はこちら（佐渡汽船商事）の提示通りでお願いしますと言われました。私はハイと答えました。「それで結構です」金額の提示は私の工場売り上げ年商の高額でした。契約は成立しました。引き続き残る社員は23名位でした。3月からスタート9月末まで半年は毎月2～3百万位の資金不足で、銀行に済みませんと言い、借りては長岡へ運びました。三条信組の店長永井さん、貸付の佐藤さんに心配をかけました。この時の恐れなかった、又無知、決断と行動が忘れることが出来ません。皆さんに支えられたと深く思って感謝しています。

話が変わりますが、北ロータリーに入会して今は本当に良かったと思っております。前梨木会長さんの会長挨拶も現会長山本先生の話も食事をしているのがもったいない様な内容の濃い含蓄のある挨拶かと思います。後日会報でじっくり読み返すと、気持ち、心に入り込みます。私も赫くありたいと思っています。

最後になりますが、自分の気持ちの中「心」にいつも思っている言葉があります。

人は智の人でなくてもよい。才の人でなくてもよい。しかしどこまでも情の人でなければならない。

自分も常に明るく社交的で楽しく仕事に前向きに、女性にやさしく頑張りたいと思います。

本日はまとまらない話で、非才の私ですが、どうか仲良くお付き合い下さいますようお願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

地区大会報告：

山本 賢会長

去る11月1日、2日に行なわれました地区大会について、印象記は下記の通りです。

まず、1日に山本良一氏の講演会「地球環境と経営調和Ⅰ1秒でこんなに変化する世界でⅠ」がありました。以下のような内容でした。

20世紀の工業文明は、地球限界を考慮することなく大量生産、大量消費、大量廃棄を続けてきました。しかし仏教思想は、人間も生態系の一部であることを自覚させ、欲望を抑制して「足ることを知れ」と諭し、社会のために献身的に働くべきであると勤めています。今、1秒間に0.002種、7分に1種の生物が絶滅しています。熱帯雨林の破壊が主な原因となり、1日200種の生物が絶滅しつつあるといえます。このままではすべての生物種は1,000年ほどで絶滅してしまうかもしれないのです。21世紀のキーワードが「地球管理」「脱物質化」「社会的公正」「市民による科学技術のガバナンス（統治）」「開発から安全保障へ」などであることを認識されることが求められていると思います。

続いて、2日のライラ研修生の報告では、青柳喜美さん（村上RAC）の発表が非常に感動深かったです。若いにも関わらず私の周りの若者に比べ、非常にしっかりとした考えを持っていると感じました。ライラ研修は青柳さんにとって良い人生経験になったのではないのでしょうか。

また、ガバナーエレクト横山芳郎氏（新潟RC）のご挨拶では、「リトルガバメント」という言葉が非常に印象に残りました。今の時代をととても反映しているように聞こえました。

最後の懇親会でのガバナー挨拶では、この2日間の大きな会議をやり終えて感動されたのか、充実感からなのか、原信一ガバナーは嗚咽されておられました。そのことが脳裏にやきつき、私もその姿を見て、目が潤みました。今回の地区大会は、大成功だったと思います。準備、進行を担当された役員の皆様に感謝しながら、三条に帰ってまいりました。

西山 斉幹事

11月1日、2日に開催された地区大会の印象に残ったことをご報告申し上げます。1日目のメイン事業、東京大学教授、山本良一氏の講演会は、世界の刻々とした変化を1秒の世界で表現（1秒に0.3人、4秒にひとりが飢えによって命を落としています。1秒間に大型トラック63台分、252tの化石燃料が消費されています。1秒間に320万円の軍事費が使われています。1秒にテニスコート20面分の天然林が消失。…e t c.）し、生命の瞬間々々、地球の限りある資源や大切にしようという内容でありました。一昨年あたりにインターネットで流行った地球を100人の村に例えた100人の地球村に何か通じているようにも感じられました。山本教授のお考えが「1秒の世界」（ダイヤモンド社、1000円）という見易い本になっています。2日目、各種報告、毛利さんの講演会、懇親会も終り、クラブメンバーの皆様をお見送りしたところで、待ち合わせのため失礼させていただき、ホテル日航の中